

内野川に瞬くホタルの光 第18回ホタルフェスタ



▲来場者でにぎわう会場

5月25日、五和町の城河原運動広場を主会場に「第18回ホタルフェスタ～ほんわかホタルの鑑賞会～」が開催されました。ホタルのタペ市では、地元特産品の販売や五和小学校児童によるホタル便の取り組み発表、豪華賞品が当たる抽選会などが催され多くの人で賑わいました。

ホタルロードを歩いた人は、「昨年よりホタルが多かったみたい」と、ホタルのほのかなあかりを楽しんでいました。

初夏の栞本を満喫 栞本コミセン祭り



▲花の種を付けた風船を飛ばす子どもたち

6月1日、地区振興会主催で栞本コミセン祭りが開催されました。

ホタルが舞い、竹灯籠が設置された情緒たっぷりの会場で、スタッフも「子供たちの笑顔のためにがんばります」とやる気満々。絵本の読み聞かせや身体を使ったりリズム遊び、唐揚げ、カレーなどの出店もあり、小さい子どもからお年寄りまで多くの人が初夏の栞本を満喫していました。

令和最初の手形 陶器に残す 令和元年の手形プレート完成!



▲完成した手形に喜び子どもたち

5月27日、河浦町の新合児童クラブの子どもたちが改元の記念に作製した陶器のプレートが完成し、同クラブの壁に設置しました。令和の文字に手形や未来の自分に向けたメッセージを入れたもので、その出来栄えに子どもたちも笑顔を見せていました。

3年生の松本悠真君は、「お父さんに一番に見せたい…やっぱりお母さんかな」と話していました。

みんな名人!?大物獲ったぞー! 新和・有明小学校合同仕切り網漁体験



▲熱心に説明を聞く児童

6月4日、新和町宮地浦湾で新和小学校と有明小学校の4年生50人が合同で仕切り網漁を体験しました。これは、地域の自然や風土について学びながら交流を深めようと8年前から実施しているもの。

地元の人から獲り方やよく獲れる魚、危険な魚などの説明を受けた子どもたち。マダイやココダイなどの大物を捕まえていました。網いっぱい捕った児童は、「おじいちゃんに早く見せたい」と話していました。



増田 民雄 さん
佐伊津町・70歳
瑞宝双光章
元天草広域連合
消防司令長



江崎 昭徳 さん
亀場町亀川・85歳
瑞宝双光章
元公立小学校長



浦上 政志 さん
今釜町・70歳
瑞宝小綬章
元天草広域連合
消防正監



本田 武志 さん
有明町須子・71歳
旭日小綬章
元天草市議会議員



松森 照子 さん
宮地岳町・61歳
瑞宝半光章
元宮地岳保育園
保育士



松下 啓治 さん
本町下河内・64歳
瑞宝半光章
元天草市消防団
副団長



鶴田 和子 さん
本町本・69歳
瑞宝半光章
本町保育園保育士



鬼塚 延子 さん
桐浦町・60歳
瑞宝半光章
元本渡ひまわり保育園
主任保育士

春の叙勲 受章おめでとうございませう
※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。

イルカ観光の拠点施設完成 道の駅「天草市イルカセンター」オープン

6月1日、五和町の二江漁港そばに天草市イルカセンターが完成し、開業式と道の駅認定証交付式が行われました。イルカウォッチングの受付をはじめ、地元物産品の販売、2階にはイルカのことが学べるコーナーもあり、ウォッチングまでの待ち時間も楽しむことができます。

施設を訪れた人は、「海を見ながら食事もできる。次は孫を連れて来たい」と話していました。



▲関係者によるテープカットで開駅



地域おこし協力隊
とみやま ひろし
富山 宏士さん

館内では、古来からイルカと共存してきた素潜り漁や、地元の漁師さんたちが行う海の資源回復の活動などの素晴らしい取り組みをパネルで紹介しています。

イルカウォッチングの乗船料の一部は海の資源回復などの活動に充てられ、お客様が増えることで海の環境が保たれる仕組みです。魚などが増えることで漁師さんも喜び、イルカも住み続けることができる豊かな海。この循環を作る一員としてがんばります。



高校生の研究が世界へ飛び立つ

天草高校科学部がGlobal Link Singaporeに出場



▲天草市民センターでの研究成果発表会

天草高校3年生で科学部の古田詩乃さんと山下鮎人くんが7月27日からシンガポールで行われる世界大会で研究発表します。2人の研究は、天草の7,700年前以降の地層から花粉や珪藻の化石を採取し、その変化で50年後の天草の海面の高さを予測するもの。つくばの大会で入賞し、世界大会の権利を獲得。出場する2人は、「研究の成果と天草の魅力を英語で世界に伝えられるようにがんばります」と意気込みを話していました。

気軽に！楽しく！マリンスポーツ

第1回天草SUPフェスタ



▲SUPサイコー！

ボードの上に立ち、パドルを漕いで進むマリンスポーツ“スタンドアップパドルボード(SUP)”を普及させようと、6月9日日本渡海水浴場で天草SUPフェスタが初めて開催されました。天草SUP協会が主催したもので県内外から親子づれなど約100人が参加。

友達2人と楽しんだ女性は、「ふわふわ浮いている感じが気持ちよかったです」と話していました。

きれいな海に遊びに来てね

白鶴浜海水浴場清掃活動



▲袋を手にごみを拾う生徒たち

6月4日、天草小・中学校の生徒と教諭ら約150人が、天草町高浜の白鶴浜海水浴場でごみ拾いを行いました。ふるさとの自然を大切に、生徒たちの交流を深めようと海水浴シーズンを前に毎年実施しているもの。

小学生をリードして流木などの漂着物を拾い集めた中学生は、「ごみは多かったけど、砂浜がきれいになってよかった」と話していました。

読書の楽しさを伝えたい

「シモンちゃん'S」に文部科学大臣表彰



▲倉岳小学校での読み聞かせ

倉岳地区の読みきかせグループ「シモンちゃん'S」が文部科学大臣表彰を受賞しました。この賞は、子どもの読書活動推進に貢献した学校や図書館、団体等を表彰するもので、小学校での読み聞かせや地区の図書室整備などの活動が評価されての受賞となりました。

グループの皆さんは、「今後も子どもたちに読書の楽しさを伝えていきたい」と笑顔で話していました。

気持ちよく伝馬舟に乗ってほしい

伝馬舟“たで舟”作業



▲真剣な眼差しでペンキを塗る会員

5月19日、御所浦伝馬舟の会が8艘の清掃作業“たで舟”を行いました。

夏の観光シーズン前後の年2回行っているもので、大潮干潮に合わせて係留所付近の砂浜で実施。会員10人が潮が引いている短い時間で、手際よく舟底のフジツボを除去し、舟底を火であぶりペンキを塗りました。

“たで”の語源は、舟底を火であぶる「焚く」からきています。

新たな庁舎でスタート

天草市役所本庁舎開庁



▲国旗と市旗を掲揚し心を新たにす職員たち

6月3日、完成した天草市役所本庁舎での業務開始を前に、市議会議員と職員約500人が出席して開庁式を行いました。

中村市長が、「ようやく1カ所で業務が行える体制が整った。充実したサービスを提供してほしい」とあいさつ。職員は8時30分からそれぞれの部署で業務をスタートさせました。本庁舎では、ワンストップで転入転出の手続きができる総合窓口サービスも新たに始まりました。

夏に飛び込め！！

四郎ヶ浜ビーチ海開き



▲初泳ぎを楽しむ子どもたち

6月15日、有明町の四郎ヶ浜ビーチで海開きが行われました。同ビーチ管理組合の役員など約30人が出席した神事で海の安全と盛況を祈願。待ちかねた子どもたちは海へ飛び込み、初泳ぎを満喫。「水は冷たいけど楽しい」と笑顔で話していました。

水質は今年も最高評価(適AA)。7月14日には「さぎ波フェスタ2019」も開催されます。皆さん、ぜひお越しください。

ヒマワリの種が伝える交通安全

ひまわりの絆プロジェクト



▲ヒマワリの種をまく園児

5月15日、牛深警察署で牛深・河浦地区の保育園など約200人が参加してヒマワリの種をまきました。この「ひまわりの絆プロジェクト」活動は、交通安全と命の大切さを伝えようと実施されたもので、4歳のとき交通事故で亡くなった東陽大君(京都府)が育てていたヒマワリが全国に広がったもの。

園児の保護者は、「子どもが交通事故に遭わないよう交通ルールを教え見守ってほしい」と話していました。